

平成25年6月3日

会員各位

協会だよりー246(6月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス

- 第217回月例会(講演会・懇親会)の開催は7月3日(水)です。出欠のご返事は6月14日(金)までお願いいたします。
- 第218回月例会(見学会・懇親会)は旭硝子千葉工場に決定。見学日時は9月の中旬から下旬にかけて何れかの日を旭硝子社と調整中です(担当運営委員:日誠金属㈱、クライアント触媒㈱、幹事会社:川研ファインケミカル㈱、キンキメタル産業㈱)。



©Takashi Matsuda

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 会長就任の挨拶
【予定事項】
- 三. 代表者交代・担当者の交代お知らせ
米国西海岸観光(鶴岡 武さん寄稿)
- 四. 事務局より(六月度の予定)
- 五. 【雑字】おくのほそ道ツアー――
越後・越中編(直江津・高田・能生へ)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ①協会だよりー245 (5月号) をメール&郵便で送信 (5/1)
- ②平成25年度第一回運営委員会
日時: 平成25年5月17日(金) 16:00~17:00
場所: 堺化学工業㈱東京支店会議室にて
議題: 第217回月例会(講演会)の運営。第219回月例会(一泊研修会)の進行状況。
- ③旭硝子㈱本社へ工場見学依頼の挨拶(佐藤運営委員・事務局) (5/30)

【予定事項】

- ①平成25年度会員名簿の作成と発送予定 (6/11)

2. 会長就任の挨拶

当協会は、昭和50年、使用済み触媒の資源化を目的として、使用済み触媒の回収に携わる会社を中心となって設立されました。その後、工業製品や宝飾・装飾品など他の分野の会社も加わり、現在、42社の会員が、経済産業省の関連団体として、使用済み触媒を始めとしたリサイクル原料からの貴金属、白金族、レアメタル等の有価金属の回収、再利用の促進に向けて活動を続けています。

石油精製分野では、不純物（硫黄）を取り除くための触媒としてモリブデン、ニッケル、コバルトが、石油化学分野では、製造する化学製品に応じて様々なレアメタルやレアアースが使用されています。自動車の廃ガス処理設備には触媒として白金、ロジウム、パラジウムが用いられています。

これらのほかにも、今日、触媒は、食品、洗剤、医薬、農薬、香料、染料、さらには、脱臭・防汚等の環境対応や燃料電池等の新エネルギー分野でも使われるなど、ますます用途が拡大しており、それに伴い、原料として用いられる貴金属、白金族、レアメタルの需要も伸びています。

また、貴金属、白金族、レアメタルは、半導体やハードディスクなどの電子部品は勿論、私達の生活に密着した携帯電話、スマートフォン、パソコン、これらに使用される二次電池にも用いられています。今後、電気自動車やハイブリッド自動車の普及に伴い、車載用二次電池の伸びも加速すると予想されます。触媒や電子機器などさまざまな分野で、貴金属、白金族、レアメタルの必要性が高まっています。

一方、貴金属、白金族、レアメタル等の有価金属の多くは、海外からの輸入に依存しているのが現状です。加えて、これらの鉱物資源の主な生産国は、アフリカ大陸、旧共産圏、豪州、北米、南米島に偏在しています。新興国における資源ナショナリズムの高まりや経済発展による需要拡大は、これら有価金属の需給の不安定さを助長します。また、環境意識の高まりによる生産コストの上昇や供給不安は価格の高騰を招きます。

日本は、鉱物資源には恵まれません、電子機器や自動車などの最先端産業が盛んで、貴金属、白金族、レアメタルの世界有数の消費国です。それゆえ、これら有価金属の安定供給の有力な方策のひとつとして、リサイクルの重要性がますます増しているのです。

当協会の会員各社は、長きに亘り、使用済み触媒や廃電子部品等のリサイクル原料からの有価金属の回収、再利用に取り組んできました。触媒や電子部品等の高性能化・省金属化に伴い、今後ますます低コストかつ効率的な分離・回収・精製技術が求められてきます。

当協会は、貴金属、白金族、レアメタル等有価金属のリサイクルに関する技術動向の情報の提供や各種講演会・研修会の開催、また、経済産業省や関連諸団体との情報交換を通じ、会員各社の事業活動促進を図って参ります。また、このような活動を通じて、今後とも、我が国の「循環型社会」の構築に貢献して参りたいと考えております。

会員各社並びに関係各位のますますのご理解と、ご支援・ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

第13代会長 三浦 章(JX日鉱日石金属㈱執行役員・環境リサイクル事業本部長)

3. 代表者交代・担当者の交代お知らせ

● 代表者の交代

日本無機化学工業株式会社

(前) 代表取締役社長 松澤 敏殿 ⇒ (新) 代表取締役社長 飯田哲男殿

5月29日開催された株主総会にて松澤 敏殿が退任され、同日開催の取締役会において飯田哲男殿が後任として代表取締役社長に就任されました。なお松澤 敏殿は顧問に就任いたしました。

● 担当者の交代

① 日本無機化学工業株式会社(運営委員会委員)

河野照男氏(新顧問) ⇒ 佐藤義彦氏(新営業部長)



河野照男氏が取締役営業部長を退任され顧問に就任したため、新営業部長になられた佐藤義彦氏が協会の担当者になり運営委員も引継ぎをいたしました。（6／1）

当面、河野氏も佐藤氏と運営委員会、協会行事へ出席いたします。

4. 西海岸観光（鶴岡 武さん寄稿）

30 数年間に渡り訪米は 100 回を超え、北アメリカ西海岸が商売で北南アメリカを回る出発地にしていた。勿論観光などは無く、お客さんとゴルフや食事が多く稀の楽しみは、ゴルフ帰りにビバリーヒルズの顔馴染みの骨董屋に立ち寄り、物色するくらいだ。

苦い経験として、ビバリーヒルズの名門「ロスアンゼルスCC」で他人のメンバー名を借用し、スタート直前発覚大眼玉をくったが、最後はクラブ専用キャデー同伴を条件に楽しんでプレーせよとの事、日本とは大違いだ。



桑港のトロリーバス

今回初めて米国西海岸観光に参加しわくわくした。初日は桑港に泊るも、坂の多い街で43の丘があり、市バスの50%はトロリーバスで排気ガス削減を図っている。近くにはシリコンバレーやスタンホード大学があり、車社会でガソリンは日本よりはるかに安価だが、走行距離が格段に多く市民にとっては安くない由。交通違反をすると罰則は市内のゴミ拾いとなり、目立つ作業衣での実刑と成る。カルホルニア州は500年昔、スペイン人に発見開発され、1700年頃から本格的な植民地化が始まりイン

デアンにもキリスト教を広めている。1800年にはメキシコ領と成り、1850年米国との戦争に負けカリブ海に面する3つの州とここカルホルニアは米国領となったが、地名にスペイン語が多い。今でもメキシコ人は米国が領土を分捕ったとこぼす。

桑港は道路の真ん中に市電が走り駅も道中央で、自転車も持ち込める。カルホルニアは冬が雨季で緑も多く、夏は日照りが続き枯れ草と成り日本と逆である。市内から300キロメートルのシユラネバタ山脈の中央にある米国3大国立公園（イエロストーン、グランドキャニオン、ヨセミテ）の一つで、世界遺産のヨセミテ国立公園に向かう。

ところが、昨夜オバマ大統領が地元の金持ちに寄付を求めに来られ、沢山の警官と交通止めがひどく、市内大渋滞で酷い目に会う。やっとゴール



桑港の路面電車

デンブリッジを渡り目的地へ向かう。



ゴールデンゲートブリッジ

途中沢山の風力発電を見かけるも、オイルショック後は7千基余り造られたが、渡り鳥が何千羽と羽根に当たり死亡、環境団体から苦情が出、更に改善され現在は五千基が稼働している。公園のあるシユラネバダ山脈は南北に長く、東側は砂漠地帯で西一帯は農耕地帯となり山脈の雪解け水を利用、露路栽培が多い。広大な土地故種まきは飛行機を使うも、収穫は人手を要しメキシコからの季節労働者に頼つ

ている。今カルフォルニアはヒスパニックが増加しており、小学生の50%が彼等で、市長にも成っている。三大果樹はアモンド、クルミ、ビスタチオで車窓からは見渡す限りこれらの植物で占められている。休憩地で野ざらしの大型金圧延機が有り、ゴールドラッシュ時血眼になって金を求めていた往時の人達が想像される。

途中の街にはインディアン(今はネイチャー・オブ・アメリカンと呼ぶ)が住んでおり、政府から種々の恩典を与えられている。昔白人の持ち込んだ病原菌即ち、天然痘、やインフルエンザ等の免疫が無く村が滅びた例もあったらしい。アラスカでもハシカの蔓延でエスキモー村全滅事例もある。ヨセミテ国立公園は元々インディアンの住家であったが、白人騎兵隊が占領、彼等を追い出した。公園近くに成るとカーブが多く酔い止め薬が必要だ。



此の国立公園は氷河の浸食によって出来た巨大な岩峯と、U字谷に落ちる無数の滝と溪流、セコイヤ等巨木の森が見事に溶け合い絶景を作り出している。前期の如く世界遺産にも認定され、桑港から比較的近い事もあってアメリカでも最も人気の高い公園の一つだ。雄大な峡谷美が満喫でき我々の如く日帰りツアーも多い。一枚の岩が100米四方もあり、息をのむ景観にあふれるヨセミテ渓谷は、壮観さと美しさを併せ持ち公園の宝と言われている。広大な敷地を効率よく見て回るのに無料バスが便利だが、キャン

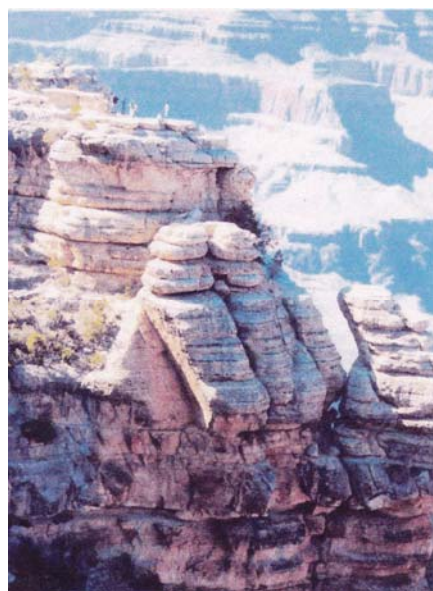
プ、ハイキング、登山、釣り、乗馬など数多くのアクティビティに溢れているのも魅力だ。兎に角直接訪れて見ないと真価は判らない。一日の観光を満喫して桑港へ戻った。

翌日はラスベガスまで飛びバスを6時間走らせ、宇宙から見える唯一の地形と言われる世界最大の峡谷グランド・キャニオンに着き、公園駐車場から歩いて見学コースへ向かう。

最初見た瞬間息をのんだ、余りに広大で岩石の谷が深く自分には地獄の底としか思い浮かばなかった。予め絵葉書等で知ってはいたが、実物は言語に絶する威容である。数億年に及ぶコロラド川の浸食と地層の隆起作用によって作り出された由。全長460キロ米、深さ1600米の途方も無いスケールの大渓谷だ。500年昔スペイン人に発見され、余りに大きいのでグランドと命名された。ガイド曰く、4回出来ては消え今のは2億年昔に出来たらしい。18億年の地質が観測出来、地質学者にとっては垂涎の的である。

断崖や岩肌にはピンク、オレンジ、茶色等それぞれ微妙な色が違う何段もの層で出来ている。公園は川を隔てて南側のサウス・リムと北側のノース・リムに分かれ、それぞれのビューポイントから峡谷の大パノラマが望める。岸壁には殆ど防護柵が設置されているが、何も無い絶壁に近くと、風も強く恐れをなし男は大事な力所が縮んでしまう。

峡谷に突き出た岸壁上からの180度広がる展望は素晴らしいが、命と引き換えで、そんな余裕は無い。バスは移動し場所を変えて、3時間ほど見て回る。年間500万人の観光客が訪れる。中には1600米の谷底に転落死する者も出るが、遺体を引き上げるに2~3千万円も要し無縁仏となる例も結構あるらしい。最後はビレッジ西側のコロラド川の流れも見える渓谷終点から、夕日を觀賞すべく待ち構えたが残念雲に殆どさえぎられた。宿は少し走り近くにとる。





翌日は車で3時間の地、西部劇撮影のロケ地、モニュメント・バレーに行く。砂漠地帯を走行、真直ぐな道路で地平線が見え、日本では経験出来ないハイウェイだ。ユタ州に入るといっそう荒涼とした大地だが、今もインディアンのナバホ族達が暮らしている。周辺のアリゾナ、コロラド、ネバタ州にもかなりのインディアン達が自給自足を主に暮らしている。口伝へによると、インディアンが南下し南米メキシコのマヤ文明を作ったとも言われている。ケントギルバート出身地ユタ州はモルモン教で知られ住民の70%が信者らしい。酒、コーヒーを飲まず、煙草も吸わない。開拓当時節約を主とし、今も其の制度を守っている。一夫多妻制で家の煙突の本数が妻の人数を示しており、毎日異なる食事ができるが、仮に養え無くなると、一人の妻に付き25年の監獄暮らしとなる。モルモン教の学生は外国で2年間布教活動が義務付けられており、自分の初めての英会話教師は彼らだった。日曜日のパーティに招待されたが、鍋で甘酒を沸かしてのみ、酒は期待外れだった。帰国時は土産に日本の下駄をプレゼントした。ユタは岩塩が有名で土産店の店頭に並んでおり、以前州都ソルトレイク市に行った折、大塊を求め今も棚にあり光が当たると美しい紅色を呈す。以前インディアンに助けられ或る白人が、恩返しに彼らの民芸品を販売援助したが不景気で困窮、代案として此の砂漠地帯をロケ地に、ジョン・ホード映画監督へ紹介した。其れが切っ掛けと成り「駅馬車や、シェーン」等50本を超える西部劇が当地で撮影され、多額のお金が出演者たるインディアンに支払われた。彼らはストーリーとは反対に大人しく、極悪な映画での行動とは全く逆である。処々に岩の柱が有る広大な砂漠で、山頂で騎乗のインディアンが幌馬車隊を監視している場面が想像される。この地は長年に渡る雨や風による風化作用や地殻変動により出来たメサやビュート（岩峰）が、赤茶けた荒野にボツン、ボツンと立つ荒涼とした景色が印象的だ。ユタとアリゾナの州境にあり、数々の西部劇やCMに登場し大西部を代表する風景に成っている。来る途中に炭鉱があり権利を政府はインディアンに与え、彼らの採掘した石炭を安価で仕入れ近くの火力発電所に供給している。2代のジープに分乗、モニュメントの有る砂漠を一時間余り走り回り、埃の中奇形岩峰を散策した。宿泊地ページなる砂漠の中の街近くで、ダム下流を1000米の断崖から腹這いで首だけ出しのぞいたが、矢張り怖くて震え上がった。

明朝ジープで幻想的な峡谷のアンテロープ・キャニオンを訪ねる。着後徒歩で神秘的の迷宮峡谷に専用ガイドの後に続いて入る。高さ50米、幅2米の谷間を少しの明るさを頼りに進むが、指定ポイントで写真を取ると（フラッシュ無し）赤、緑、黄色に岩壁面が着色し不思議である。快晴程度は鮮やかに映え、今日は最高の条件で七色の幻想の世界を経験出来た。外で砂に水を垂らすと瞬時に固化し手で持てる硬さに成った。変わった砂であり、この様に出来た砂岩が鉄砲水に浸食されて出来た岩肌は自然



アンテロープ・キャニオン

の芸術である。我々は運が良く、風が吹くと砂埃が舞い上がり、マスク、スカーフ、眼鏡が必要で、ひどい場合は中止となる。昨日のダム上流川中島が「猿の惑星」撮影ロケ地であった。昼食後砂漠を6時間走り夕方魅惑の街ラスベガスに入る。



音のスペクタクルショーは凄い。アーケードの天井は世界最大級のスクリーンと成り観光客を釘づけにする。

至る所にカジノが開店し、ステージで水着の若い娘が踊り気を取られた客はギャンブルに完敗し文無しと成る。男の世界に興味のある如何わしい店もあり、朝まで賑わいは絶えない。少し移動したホテルの人造湖で繰り広げられる光と音の壮麗な噴水ショー、曲に合わせて噴き上がる姿は見事であり、更にライトアップでのナイトショーは幻想的だった。見たい場所が未だ有ったが24時近く、疲労も重なりカジノは中止した。期待したラスベガスだが時間がなく不満足な夜と成った。

明るく日のロスアンゼルスは、カルフォルニアのイメージ其のままにおおらかで明るく何日居ても、飽きる事の無い魅力がどっさり詰まった街だ。自分も海外出張でロスに戻って来ると正直ほっとした。或るラーメン店に居た折、粗末な身なりの老婆とサングラスの女の3人連れが隣席に座り、嫌だったが宮川リエと秘書及び母親であった。よく聞く話だが、米国東海岸に居る留学生が一度ロス来ると、良い場所で帰らず居着いてしまう例があるらしい。年間降雨量250ミリで4月～10月は乾期であり沖縄に似ているも、台風は来ず。

唯山火事が多く、50%が放火だが、森の中の金持ち豪邸宅を妬むためらしい。ヘリコプター監視で90%が検挙される。海は寒流で其の上を吹く風は涼しく天然のエアコンである。俳優のシュワルツネッカーが知事だったのは衆知だが、彼は僅か\$20の所持金でボディビルの体売り込み、映画俳優で大成功したアメリカンドリーム例だ。サンタモニカビーチは珍しく強風、波高し、市内巡りでハリウッドの映画アカデミーショー表彰階段があり、1930年から現在までの受賞映画名が展示されており、自分の生まれた1935年は「Mutiny on the Bounty」とあったが知らない。チャイニーズシアター前の地面に著名俳優のサインが記されており、ジョンウェン、マイケルジャクソン、ナタリウッド等を見つける。高級住宅街を抜け山頂のグリヒス天文台で市内一望して、宿泊地リトル東京へ行く。

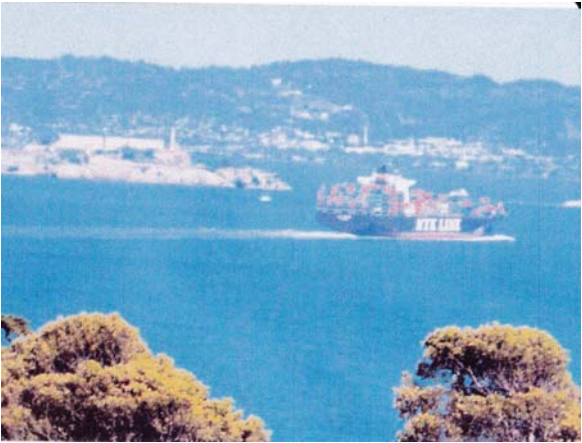


最終観光地は再度桑港に戻り坂だらけの市内散策後、標高300米の展望地から三方を海に囲まれた市内を確認する。突端の観光スポット、フィッシャーマンズ・ワーフに立ち寄り、ショッピングと魚河岸の雰囲気を残すところで昼食とし、大きな丸パンをえぐり蟹とか野菜を詰め、ドレッシング味付けの名物「チャウダーボウル」を堪能した。窓下の海に浮く板には沢山の野生アザラシが重なり合

って昼寝だ。

沖合には連邦刑務所のアルカトラズ島が見える。沖2, 5KMの島だが脱獄は困難で、今まで僅か3人が逃げたが行方不明で生きていたか不明である。因みにマフィアのボス、アル・カボネも収監されていた。最後にゴールデンゲートブリッジ見学、全長2700米で規模と美しさを世界に誇る吊り橋だ。快晴だったが霧が出るとオレンジ色の橋が浮かび幻想的な景色と成るらしい。近くにジャカランタに似た花を見つけたが、時期的に早く別種らしい。

以上米国西海岸観光をガイドの話を含め紹介した。自分は常にメモを取り紹介するが珍しい知識が得られる。



以上

鶴岡 武氏 (第八代協会会長・アジア物性材料㈱取締役会長) 記

【憩いのひと時】 昨年5月2日撮影の大藤棚 ©Takashi Matsuda



5. 事務局より (6月の予定)

月	火	水	木	金	土
5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	1
×	○	×	○	○	×
3	4	5	6	7	8
○	○	×	×	○	×
10	11	12	13	14	15
×	×	○	×	○	×
17	18	19	20	21	22
×	○	×	×	○	×
24	25	26	27	28	29
×	○	×	×	○	×

事務局延べ出勤予定：9日 (○；終日、△；半日、×は休日)。

6. 【雑学】おくのほそ道ツアー11-1越後・越中編(直江津・高田・能生へ)

前回の旅行で米山・鉢崎まで終わりました。今回は引続き直江津から富山の倶利伽羅峠を目指します。1月から2月は雪が多いので3月12日にツアー再開となりました。今回の参加者は17名、Maxとき309号(東京駅発8:24)に乗車、長岡に着きました。長岡駅には既にマルイチ観光のバスがお出迎えです。バスは北陸自動車道を一路直江津へと進みます。直江津と高田は約40年前合併して現名称は上越市となっています。芭蕉さんが訪れた江戸時代には直江津は今町として知られ、内陸の高田の宿に続いて今町・黒井の宿がありました。



芭蕉さん達は、鉢崎を出発して黒井の宿をとおり、海岸に出て今町に着きました。聴信寺へ弥三の手紙(紹介状)を届けましたが寺では葬儀の最中なので寄らず失礼したとあります。その夜は古川市左衛門さんの家に泊まり、句会を開きました。その時の句が七夕の前夜でも有り「文月や六日も常の夜には似ず」です。

黒井の本敬寺境内には、特に黒井と関係はありませんが「さびしさや 花のあたりの あすなろう」(笈日記)の句碑が建立されています。ここ一ヶ所を見学してお昼となり、私たちは昼食場所「饅や」へ直行です。早速お寿司をいただきました。「**文月や六日も常の夜には似ず**」の句碑は直江津海岸の関川河口近く(中央三丁目11)にある琴平神社境内に建立されています。

琴平神社近くの広い関川河口にて。上流奥には上信越高原の山々が白く聳えています。



琴平神社の句碑「**文月や六日も常の夜には似ず**」

【五智国分寺】上越市五智3-20-21

今より1200年前の天平13年に聖武天皇が日本の平和と繁栄を祈願して国ごとに国分寺を建立しました。一時荒廃しましたが、永禄5年、上杉謙信公により再興したと伝えられています。本尊が五

智如来であることから越後の国分寺は五智国分寺と言われています。



ここの境内には高田の医師・細川春庵家で句会を開いたとき詠んだ挨拶句の「薬欄に いずれの花を草枕」（曾良書留）の句碑があります。

芭蕉さんと曾良は三日間、春庵宅に逗留して、ここ五智国分寺、居多神社を参拝して、名立、能生に向かいました。

五智国分寺境内

「薬欄に いずれの花を草枕」の句碑

【居多神社】上越市五智 6-1-11

五智国分寺の近くに居多神社があります。

芭蕉さん達もここに参拝しています。

祭神は大国主命、奴奈川姫、建御名方命（諏訪神）です。明日訪れる能生の白山神社でも祭神となっています。

親鸞聖人が越後に配流になり、居多ヶ浜に上陸し、ここ越後一ノ宮居多神社に参拝して「すゑ遠く法を守らせ居多の神 弥陀と衆生のあらん限りは」と詠み念仏が盛んになるよう祈願したところ一夜にして境内の葎が片葉になったという伝えがあります。今でも片葉の葎が群生しています。新潟には一ノ宮が弥彦神社と居多神社の複数があるのですね。国ごとに一ヶ所と思っていました。



旧高田の市街地は豪雪地帯のため雁木（アーケード）が設置されています。しかしバスの相互通行のため両サイドとも 60 センチカットしたそうです。そのため歩道に雪が吹き込むようになったと言われています。

その市街地、上越市南本町 3-7-2 に東海道上中膝栗毛で有名な十返舎一九が越後路の道中

記『金の草鞋』を著作した中で、ここ栗飴翁舗の高橋屋を紹介しています。一九が高田を訪れた時、主人のもてなしを受けたと言われています。現在の製品「飴」は粟ではなく米が原料とのことでした。皇室でも御用達の店として知られ、甘みも上品な菓子が並んでいます。



【金谷山スキー場】

明治44年(1911年)、オーストリア・ハンガリー帝国の軍人、レルヒ少佐により日本で初めてスキー術が伝えられたスキー場として有名な場所です。私たちが訪ねた3月12日は二日前の10日(日)でスキー場が閉鎖となっていました。無理をしなければまだ滑れそうな積雪です。一組の親子がそり遊びをしています。スキー場の駐車場からは小高い丘陵上にレルヒ少佐の銅像が聳え立っています。



レルヒ少佐の銅像は一本杖が竹製です。日本に来てからあつらえたのでしょうか。金谷山スキー場はスキーのメッカとして全国スキー大会が幾度も開催されました。今では雪が少なくなったためもあり、市民スキー場としての利用になっているようです。銅像下から高田の市街地を望む。標高は低いですが、展望台としては中々の場所です。まだまだ残雪が豊かな高田、直江津方面が望めます。

また近々開通で現在建設中の北陸新幹線は、この金谷山の下をトンネルで通過するといわれています。

本日の勉強会はここで終了、今日のお宿である赤倉温泉「赤倉ホテル」に向かいます。ホテルの目の前はスキー場で、スノーボードを抱えた若者たちのグループが通り過ぎます。路面の積雪はありませんが両サイドは2メートルを越す雪の壁で



す。標高700メートルと言うこともあり、ここはまだ冬の世界です。宿には泉質の違う湯が二箇所有り、どちらも堪能しました。ナイターで滑るスキーヤーも見え、歴史探訪の旅よりもスキーをしたい気持ちになった一夜でした。温泉に浸かった後の夕食は和食・洋食のフルコース、ビール・酒を頂いた後の高齢者には、このシリーズの旅で初めて食事を持て余しました。いよいよ明日からまた芭蕉さんの旅に戻ります。

翌日バスは赤倉温泉を出発して能生に向かいます。芭蕉さん達は高田を出発して五智国分寺、居多神社を参拝して、能生の玉屋五良兵衛方に泊まりました。上の写真のとおり、芭蕉さんの泊まった時と同じ場所ではありませんが、現在でも日観連の看板つけた同名の旅館「玉屋」があります。



【白山神社】糸魚川市大字能生 7238

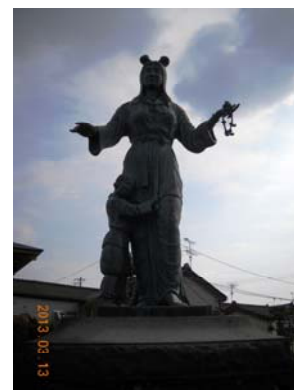


祭神は 伊佐奈岐命、大国主命、奴奈川姫で上越市の居多神社と同じ祭神です。『古事記』では、越後に奴奈川姫と言う美しい姫がいて、大国主命は彼女をお嫁さんにしたいと出雲の国からはるばるやってきて、口説き落として嫁さんにしたという伝説があります。本当の所は出雲の国が、豊饒でかつ天然資源（金銀銅、翡翠等）に富んだ越後の国を配下にしたい欲望で攻め込んだとも云われています。明治以前はここも神仏合祀（神と仏が一緒）でしたが、明治政府の神仏分離令により白山神社と改称されました。その時の鋳潰し損ねた鐘がご神体として残っています。糸魚川は越後の国ですが、加賀前田藩の影響（多額の寄進があった？）で白山神社の石灯籠には前田家の家紋梅鉢が残っています。

《糸魚川市》

富山県との県境にある人口約 46,000 人の地方都市、ひすいで有名な姫川の河口に位置しています。

フォッサマグナ（中央地溝帯）糸魚川静岡構造線の地でもあります。西部には飛騨山脈が直接日本海に落ち込む親不知・子不知もあります。姫川の河口近くの公園には奴奈川姫の銅像が建立されています。縄文時代より祭事に使用された勾玉もヒスイで作られています。奴奈川姫はヒスイの神様でも有ったのでしょうか。また早大の校歌「都の西北、早稲田の森に・・・」を作詞した相馬御風の出身地でもあります。



【加賀の井酒造】糸魚川市大町 2-3-5

江戸時代、前田家が参勤交代の時、本陣を置いた小林家。糸魚川は加賀百万石の宿場町として栄えました。その小林家は本陣として奉仕したことから、今より 360 年前、承応元年（1652 年）越後の国でありながら、前田利常公より加賀の名を付けて酒造を許されたといわれています。純米酒はフルーティで飲み口の良い酒でありました。新潟県ではありますが県境でもあり、県都新潟市は遠く富山県、石川県との交流が多い地なのでしょうか？次号はいよいよ親不知へ突入です。



【文責・専務理事】